

校章・校歌

【校章】



信濃の国は古く古事記の中に科野（しなの）と書かれ、更級・埴科・倉科・穂科などの地名も倭名抄に見えている。その他にも「科」の地名があちこちにあって、皆国名の名の一つであると思われる。したがって、科の木が県下各地に密生していたことは事実のようである。

いわば、科は長野県の代表的植物であって、樹皮は、はなはだ強く、馬を飾り、ぎょう（金へんに堯）を綴った。また、布は信濃布ともいわれ、古い書物にも見えているくらいで紙にも使われていたらしい。

校章にも、広い視野から、この県の象徴とも見られる科の葉を選定した。特に、紙と布とに利用された科の葉木は、紙は商業科・会計情報科、布は服飾科を象徴するもので、最も本校にふさわしい。

すくすくと大空に向かって伸びる科の木は、若人の気風を表している。

【校歌】

三、	二、	一、	校 歌
この学園に 彼我一千の 世紀の歩み 文化の光 世界の平和	朝な夕なに 芙蓉の峰は 湖畔に香き 衆物をなせる 日々にはけみ	山脈をゆく 朝の風は 今ぞきし来る 青春の希望 真理の道を	
集ひ来し 若人よ 新しく みがきつつ たたへなむ	仰ぎ見る 永久に 科の木を 香頂池 遊まなむ	空はれて 香頂をば 光明に ゆだきつつ 進らなむ	
		藤森 助夫 作曲 倍時 渥 作詞	